

政策評価調書(30年度実績)

政策名	大分県ブランド力の向上	政策コード	Ⅱ-6	関係部局名	企画振興部、生活環境部、商工観光労働部、農林水産部
-----	-------------	-------	-----	-------	---------------------------

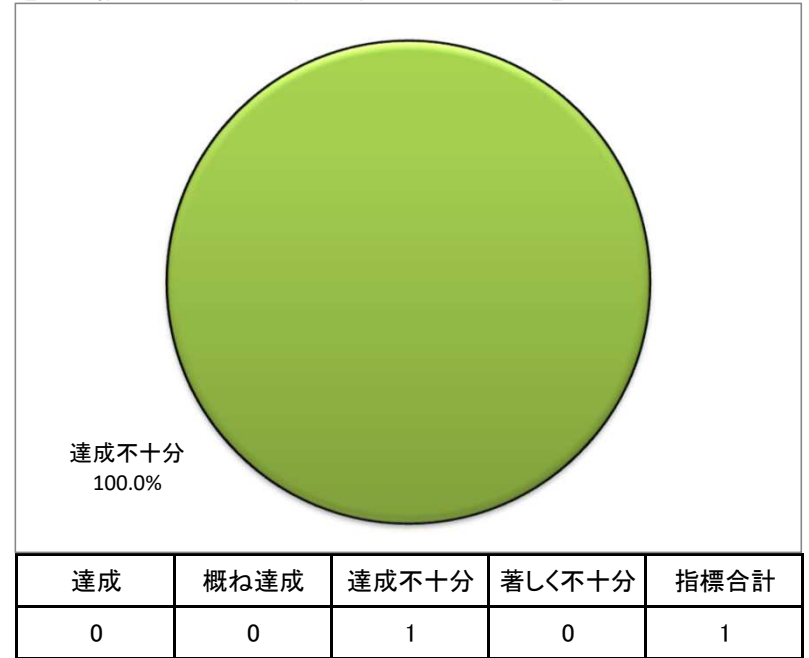
【Ⅰ. 政策の概要】

「おんせん県おおいた」の統一イメージの浸透や、世界農業遺産など世界ブランドの活用、政策と広報の連携強化やターゲットの明確化などによる広報の最適化、世界的スポーツイベントや海外ネットワークを活用した海外広報の強化によりブランド力を向上させ、地域活力の向上につなげる。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	戦略的広報の推進	達成不十分	B

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

「おんせん県＝大分県」というイメージを活かしつつ、世界農業遺産やユネスコエコパーク等の世界ブランドに加えて、六郷満山や日本ジオパークなどの地域ブランドを活用するなど、温泉と温泉以外の魅力を組み合わせることにより、大分県のブランド力を向上させる必要がある。

情報発信の手法について、従来のテレビやラジオ、広報誌に加えて、WEBやSNSといったデジタルチャネルを利用するものが広まるなど選択肢が多様化している中、本県が持つ様々な魅力的なコンテンツについて、それぞれの特徴や発信対象に応じて最適な広報媒体を組み合わせた情報発信をデジタルマーケティングを積極的に活用しつつ戦略的に行う必要がある。

訪日外国人旅行者3,119万人、農林水産物・食品の輸出額9,068億円とともに過去最高となり、外需を取り込む機運が高まっている中、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会といった世界的スポーツイベント開催の好機を逃すことなく、県産品の販路拡大や移住定住の促進、インバウンドの拡大等に向けて、海外広報の強化が求められている。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—